ぞうぐみだより

2019年度
2月号

社会福祉法人　尚徳福祉会　生麦保育園

暦のうえでは春を迎え、もうしばらくすると、冬からようやく解放されそうです。太陽の光も優しく降り注いでくれるでしょう。子どもたちは元気に登園し、歌を歌ったり、運動遊びを楽しんだりと、保育園生活を満喫しています。今後は、卒園式の練習も多くなってきます。子どもたちの負担にならないよう残りの園生活も楽しめるようにしていきたいと思います。

高砂会　お正月交流会

先日高砂会の方とのお正月交流会がありました。すごろくやカルタ、福笑いなどお正月ならではの遊びにみんな夢中になり、「これたのしいね」「もっとやりたい」と楽しげな声がたくさん聞かれました。園庭では、自分たちで手作りした凧を喜んで飛ばす姿があり、「みて！とんだよ」「ぼくのたか～い」「かぜつよいね！」と嬉しそうに保育者や友だちに教えていた子どもたちです。

凧作り

今年の凧は、シンプルだけどかっこいいをテーマに、自分たちの名前の好きな一文字を書いて仕上げました。「どうしようかな～」「どのもじにしようかな？」「〇〇と〇〇でまような～」と悩みに悩んで決めた一文字を書き、とても素敵な凧が完成していました。

おにのお面作り

鬼のお面の説明をすると、「かみぶくろでおにできるの～？」と子どもたち。実際に作って見せると「すごい！やってみたい」と興味津々で紙袋を持ってきては作成していました。出来上がった鬼は、節分会で使用する予定で、異年齢に披露するのを今から楽しみにしている子どもたちです。

★☆★☆★☆★☆★生麦小学校交流★☆★☆★☆★☆★

１月21日に生麦小学校との交流会がありました。自分の上履きを持って小学校に向かい、少しドキドキしながら体育館に入っていきました。「うわ～おにいさんおねえさんがたくさんいるね」とついつい小声で話してしまう子どもたち。その姿も可愛いらしくてクスッと笑ってしまいました。会が始まり一年生に勉強を教えてもらったり、一緒に伝承遊びをしたり、どんぐりゴマを作ったりと様々なコーナーを楽しむことができました。特に興味を持っていたのが、アサガオの種の植え方です。一つ一つ丁寧に植え方を教えてもらうと「すごいね～」「やってみたい」と前向きな感想が聞かれました。植え方を教えてもらった後はアサガオの種を一人一袋もらうことができ喜んでそれをポケットにしまっていました。一年生との交流が終わると次は五年生との校内探検です。保育園では一番上のお兄さんお姉さんでも、小学校に行くと一番下の学年。その不思議な感覚に緊張して顔がガチガチになる子の姿もありました。最後は小学生とハイタッチをして保育園に戻りました。残りの２か月子どもたちが小学校に対して期待を持てるように工夫していきたいと思います。

お知らせ

・２月28日（金）お別れ遠足で『こども宇宙科学館』に行きます。
　※一日の遠足になりますので、お弁当の準備をお願いします。
　※当日は、往復電車で行きます。※詳細は別紙でお知らせします。